

科目名	看護学原論 Principles of Nursing		担当教員 (研究室番号)	中西貴美子 (205) 灘波 浩子 (204) 上田 貴子 (304) 鈴木 聡美 (103)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	中西 : kimiko.nakanishi@mcn.ac.jp 灘波 : hiroko.namba@mcn.ac.jp 上田 : takako.ueda@mcn.ac.jp 鈴木 : satomi.suzuki@mcn.ac.jp					
履修年次	1年次 前期	科目 区分	専門科目・実践基盤看護学		選択 区分	必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	講義	科目等 履修生	否
科目 目的	看護・看護学への関心を持ち、看護や看護者の役割について自ら考えていくための基礎を築くことができる。また、看護者としての能力を高めることの意義について理解することができる。											
ディプロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	C その時代の社会情勢や、人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につけている。(興味・関心・意欲)										
	関連する DP	E 看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につけている。 A 人々の生命と人間としての尊厳及び権利を尊重し、共感的に関わる姿勢を身につけている。(姿勢・態度)										
到達 目標	1. 人間、健康、環境の関係について自分の考えを持ち、看護の役割を理解することに役立てることができる。 2. 看護実践の実際や看護実践における法的基盤および教育制度を知り、看護の役割について自分の考えを持つことができる。 3. 看護実践の枠組みとなる看護理論の概念について説明できる。 4. 看護の倫理的責任を知り、質の高い看護実践を行うことの重要性和看護者の責務について説明できる。 5. 現代社会における保健・医療・福祉の現状や看護の歴史的変遷を知り、人々に求められる看護者の役割について考えることができる。											
成績評価方法 (基準)	筆記試験(40点)・課題レポート(60点)による総合評価。 なお筆記試験・課題レポートはそれぞれ60%以上の評価であることを単位認定の条件とする。 学習態度は、課題レポートとは別に、授業で用いる学習用紙の記述状況により評価する。											
再試験の有無と 基準等	筆記試験で不合格となった場合、本人からの申請により再試験を受けることができる。 課題レポートで不合格となった場合、本人からの申請により、再度レポートを提出することができる。											
教科書	茂野 香おほほか、系統別看護学講座 専門分野 I 看護学概論、第16版、医学書院 ヴァージニア・ヘンダーソン著、湯植ますほか訳：看護の基本となるもの(最新装版)、日本看護協会出版会 70115・ナيتينゲール著、小玉香津子ほか訳：看護覚え書き 本当の看護とそうでない看護、日本看護協会出版会											
参考書等	授業の中で適時紹介する。											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と 学生への期待	・テキスト・自ら調べた資料・DVD・体験談などを教材として、看護についてグループワークを行い、「看護とは何か? 看護者とは何者か?」について考えを深めましょう。また、グループでの話し合いを通して、他者の考えを尊重しながら自分の意見を適切に主張する態度を身につけましょう。 ・グループワークを行うためには、事前学習が必須です。主体的に学習を行って来てください。											
備考	グループ配置は初回授業の前までに掲示板に掲示します。初回からグループごとに座って下さい。											
回	学習項目		学習内容					主担当 教員	授業 方法			
1回	看護者の役割と必要とされる能力 看護の基本概念①		・現代における保健・医療・福祉の動向をふまえ、看護者に求められている役割について考える。 ・看護者としての能力を育成するための、看護学の学習過程について学ぶ。 ・看護の基本概念について学ぶ。					中西	講義 演習			
2回	看護の基本概念②：人間の「くらし」の 理解 5/13(水)実施		・「三重を知ろう」のフィールドワークを通して、近隣地域での生活の在り様を、「伝統」「生活の場」「生活者としての人」の視点から知る。*フィールドワークの実施方法については別途指示する。フィールドワークが中止になった場合、7/21に振り替え授業を行う。					中西	演習			
3回	看護の基本概念③：人間、健康、環境、 看護の関連		・人間の「こころ」「からだ」を知ることに役立つ資料、健康とは何かを理解することに役立つ資料、環境とは何かを理解することに役立つ資料を持ち寄り、グループワークを通して人間・環境・健康の関係について理解を深める。 ・人間を理解する上で役立つ概念や理論を学ぶ。 ・健康とは何かを理解する上で役立つ概念や定義を学ぶ。					上田	講義 演習			
4回	看護の基本概念④：看護活動の実際		・看護とは何かを理解することに役立つ資料を持ち寄り、グループワークを行ったり、看護活動の実際を知ること、看護者の役割について自分のイメージを持てるようにする。 ・看護実践における法的基盤および教育制度を学ぶ。					上田	講義 演習			
5回	看護の基本概念⑤：人間、健康、環境、 看護の関連		・第2回、第3回、第4回の学習を活かして、「人間」「健康」「環境」「看護」の概念についてグループワークを通して自分の考えをまとめる。 (課題レポート：2回目)					上田	講義 演習			
6回	看護の質の保証①：看護ケアの原則 看護実践のための枠組み①：看護理論を 学ぶ意義		・対象者に提供する看護の質を保証するための要件について事例を通して、グループワークで学ぶ。 ・看護実践の拠り所となる看護理論を学ぶ意義を知る。					鈴木	講義 演習			
7回	ナيتينゲール看護論の理解		・ナيتينゲールの「看護覚え書き」に記述されている看護の場面や技術について、グループで情報共有することで、ナيتينゲールの看護概念の特徴を理解する。					鈴木	講義 演習			
8回	看護実践のための枠組み②：ヘンダーソン 看護論の理解(基本的欲求の理解)		・ヘンダーソンの「看護の基本となるもの」に記述されている基本的看護の構成要素から、人間の基本的欲求とは何か、基本的欲求は何かから影響を受けているのか、グループで情報共有し理解する。 ・ヘンダーソンは、人間、健康、環境をどのように捉えているのかについて、グループで概念図を作成する。					灘波	講義 演習			
9回	看護実践のための枠組み③：ヘンダーソン 看護論の理解(看護独自の機能の理 解)		・ヘンダーソンの「看護の基本となるもの」に記述されている基本的看護の構成要素から看護独自の機能とは何か、グループで情報共有し理解する。 ・ヘンダーソンは、看護概念をどのように捉えているのか、グループで概念図を作成する。					灘波	講義 演習			
10回	看護実践のための枠組み④：ヘンダーソン 看護論(発表) 主要な看護理論家の看護概念の理解		・グループで作成したヘンダーソン看護論の概念図を発表することにより、多様な考え方を知りヘンダーソン看護論への理解を深める。 ・投票により、上位のグループは口頭発表を行う。 ・看護実践の基盤となる看護理論について、主要な理論家が主張する看護理論の活用方法を知る。					灘波	講義 演習			

回	学習項目	学習内容	主担当教員	授業方法
11回	看護の質の保証②：看護における倫理（看護者の倫理的意識決定）	・看護実践における倫理的側面（倫理の原則・看護実践上の倫理的概念）の重要性を学ぶ。 ・看護者の倫理的行動とは何かについて、事例を基にグループワークを通して、自分の考えを持つ。	中西	講義 演習
12回	看護の質の保証③：看護における倫理（看護者の倫理的意識決定）	・看護者の倫理的行動とは何かについて、事例を基にグループワークを通して、自分の考えを持つ。 ・倫理的意識決定の過程について学ぶ。 （課題レポート：3回目）	中西	講義 演習
13回	看護の質の保証④：看護をめぐる医療事故	・医療現場における安全の重要性について事例を通して、グループワークで学ぶ。 ・アクシデントやインシデント発生時に振り返りを行うことの意義を理解する。	中西	講義 演習
14回	看護の質の保証⑤：Evidence Based Nursing チーム医療における看護職の役割	・看護研究事例を知ることにより、根拠に基づく看護を行うことの意義を理解する。 ・看護サービスを提供する場を知り、医療チームにおける看護職の役割について考える。	中西	講義 演習
15回	看護の歴史の変遷と看護教育の変化、21世紀に求められる看護	・看護の歴史の変遷を学び、看護は時代のニーズと共に発展することを理解する。 ・21世紀に求められる看護（看護者の役割）について、グループワークを通して自分の考えを持つ。	中西	講義 演習

学 習 課 題

<p>1回目課題（事前）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト「看護学概論」はしがきを読み、看護学概論を学ぶ意義を示していると考えられる箇所にアンダーラインを引く。 ・「三重県立看護大学看護学部看護学科2020シラバス」の「ディプロマ・ポリシー」「カリキュラム・ポリシー」「履修年次別授業科目構成表」「授業科目一覧」「実習の展開」「授業科目の先修条件」を読み、本学における看護学の学習過程を理解する。 ・「三重県立看護大学看護学部看護学科2020シラバス」の実践基盤看護学分野「看護学原論」「基礎看護方法Ⅰ」「基礎看護方法Ⅱ」「基礎看護方法Ⅲ」「基礎看護方法Ⅳ」「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」の科目目的および到達目標を読み、基礎看護学における学習過程を理解する。 <p>*「三重県立看護大学看護学部看護学科2020シラバス」を授業に持参する。</p>
<p>2回目課題（事前）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト「看護学概論」p. 64-91を読み、人間のくらしについて理解を深める。 ・フィールドワークのオリエンテーション資料を熟読し、主体的なワークを行うことが出来るよう、自らの学習目標を定める。 <p>（事後）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らが捉えた地域の人々の生活の在り様について個人レポートを提出する（課題レポート：1回目）
<p>3回目課題（事前）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト「看護学概論」p. 64-91を読み、人間のこころとからだに起きる変化と反応の関係について理解を深める。 ・テキスト「看護学概論」p. 94-102を読み、健康とは何か自分の考えを持つ。 ・テキスト「看護覚え書き」p. 15-42, p. 55-72, p. 101-118を読み、環境が人間に与える影響について知る。 <p>*健康とは何か、の理解に役立つ資料と、人間や健康に影響を与える環境とは何か、の理解に役立つ資料を1部ずつ持参する。</p>
<p>4回目課題（事前）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト「看護学概論」p. 10-13, p. 27-33, p. 212-214, テキスト「看護覚え書き」p. 8-14, p. 135-173, テキスト「看護の基本となるもの」p. 9-15を読み、看護とは何かについて理解を深める。 ・テキスト「看護学概論」p. 149-157を読み、看護職の資格制度の法的根拠や看護基礎教育の制度を知る。 <p>*看護とは何か、の理解に役立つ資料を1部持参する。</p>
<p>5回目課題（事前）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護の基本概念である「人間」「環境」「健康」「看護」の関係を考える。 <p>（事後）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人間」「健康」「環境」「看護」の関係について個人レポートを提出する（課題レポート：2回目）
<p>6回目課題（事前）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト「看護学概論」p. 33-46を読み、看護の質を保証するための要件について理解を深める。 ・事例を読み、看護師が行っている看護を見出し、アンダーラインを引く。
<p>7回目課題（事前）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト「看護覚え書き」を読み、看護の場面や技術について書かれている箇所にアンダーラインを引く。
<p>8回目課題（事前）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘンダーソンの基本的看護の構成要素14項目をグループメンバーで分担して整理し、その内容について説明できるようにする。 ・基本的欲求に影響を与える要因をグループメンバーで分担して整理し、その内容について説明できるようにする。
<p>9回目課題（事前）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト「看護学概論」p. 13-25, テキスト「看護の基本となるもの」p. 17-31を読み、看護を提供するためのプロセスや理論的根拠について知る。
<p>10回目課題（事前）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘンダーソン看護論における「人間」「環境」「健康」「看護」の関係を自分なりに整理する。
<p>11回目課題（事前）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト「看護学概論」p. 182-210を読み、看護における倫理とは何か自分の考えを持つ。 ・事例を読み、どのような倫理的問題があるのかを見出す。
<p>12回目課題（事後）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例を基に、看護職者の倫理的行動とは何かについて個人レポートを提出する（課題レポート：3回目）。
<p>13回目課題（事前）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト「看護学概論」p. 276-287を読み、医療安全の重要性について理解を深める。 <p>*2018全実習概要を持参する。</p>
<p>14回目課題（事前）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト「看護学概論」p. 38-40を読み、クリティカルシンキングやEBNを追求する態度の重要性について考える。 ・テキスト「看護学概論」p. 215-232を読み、看護サービスを提供する場の多様性を知り、各場における看護職の役割を考える。また、医療チームにおける看護職の役割について考える。
<p>15回目課題（事前）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト「看護学概論」p. 2-10, p. 138-149, p. 152-160, p. 160-178を読み、看護の歴史の変遷と看護教育制度の変化について知る。 ・テキスト「看護学概論」p. 25-26, p. 46-48を読んだり、これまでの学習内容を振り返り、今後必要とされる看護（看護者の役割）について考える。

実務経験を活かした教育の取組

・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。